着ぐるみ利用時のウイルス感染予防対策

①検温

着ぐるみに入る人、着ぐるみの側で誘導する人は、検温を行いましょう。
★平熱より高い温度、だるさ、風邪の症状などがある人は、NG。

②こまめな消毒・換気

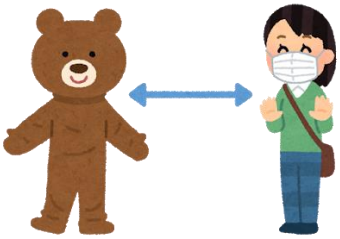
着ぐるみは休憩ごとに内部の換気（可能であれば消毒も）をおこない、
中に入る人も手洗い・消毒をする。
会場、控え室などもこまめに換気しましょう。来場者の方へも消毒をお願いしてください。
★着ぐるみの消毒は、拭き消毒をし、乾かしてから使用してください。
返却の際も、必ず消毒をし、乾かしてから収納してください。

③マスク、フェイスシールドの着用

参加者の方は、マスクかフェイスシールドを着用するようお願いします。
※理由があってマスクの着用ができない人もいます。過剰にならず臨機応変に対応を行ってくださいね。

④着ぐるみとお客様の3密回避

さびしいですが、しばらくの間、着ぐるみとの握手やふれあいは
行わないようにしましょう。着ぐるみの側で誘導する人は、
人が密にならないよう、適切な誘導を行ってください。



⑤着ぐるみの中に入る人を固定

1 体の着ぐるみにつき 1 人、中に入る人を決めて、運用することをおすすめします。
そのため、管理者の人は、着ぐるみの休憩時間を十分にとったスケジュールを組んでください。

注意

着ぐるみの中に入っている人は、無理にマスクを着用しないでください！！
熱中症や酸欠を起こすリスクがあります。
上記のとおり、使用する着ぐるみを固定して感染予防を行うことを
おすすめします。

長与町役場秘書広報課からのおねがい